



日本共産党 和歌山市議員
南畑 さち代

6月議会一般質問(続き)

日本共産党

こんにちは 市議員
南畑さち代 です

No. 64
2015・8・30
連絡先
453-7758

安心して利用できる国民健康保険制度こそ！

医療保険制度改革法案が5月27日可決・成立し、国民健康保険の運営について、2018年度から財政運営主体が都道府県へと大きく変わります。高すぎる国保料や滞納世帯の増加がある中、市民の命と健康を守る立場から安心して医療にかかれる和歌山市とするよう質問しました。答弁は左記のとおりです。

●2018年度からの広域化を控え、保険事業の充実やシエネリック医薬品の推進等により医療費の適正化を推し進め、被保険者の負担が重くな

らないよう、制度の安定的な運営を心がけていく。

●入院時の食事代が来年度4月1日より1食2600円から3600円に、2018年度は4600円に引き上げられる予定だが、据え置くことは困難。

●国は2割軽減、5割軽減の減免制度を拡充し、対象軽減世帯は3363世帯と増加し、滞納世帯は26世帯の減となり、一定の効果があった。

市の管理する公園のトイレ改善を！

●全体の滞納世帯は2014年度の国保加入者6万1285世帯中、1万465世帯となっている。

私は滞納せざるを得ない実態をきちんと把握し、安心して医療にかかれるよう取り組んでほしいと要望しました。

市民から市が管理する公園のトイレの改修や清掃等に改善を求める声が寄せられていることから、市として現状の把握と改修の計画等を求めました。

●産業まちづくり局長は、「和歌山城のトイレは、観光地としての課題のひ

とつと考えている。天守閣の入場者数はNHK大河ドラマ『八代将軍吉宗』の影響のあった年以來18年ぶりに20万人を超えた。快適性の向上、バリアフリーの観点から検討する」。次に農林水産課管理のトイレは「破損状況は、

子どもの医療費 市長「何とか実施したい！」

党・中村あさと市議

ました。

日本共産党中村あさと市議員の一般質問で、「子どもの医療費助成制度」の拡充について入院・通院とも中学校卒業まで拡充することを求める署名4万6624筆が市に提出され、制度拡充を求める多くの声があることを紹介し、市長はどう受け止めるのかと質し

市長は「どの子にも必要な医療が受けられるように何とか実施したい。10月に策定する和歌山市版総合戦略の中で結論を出したい」と答弁しました。

『安全保障関連法制』には、撤回の意見を

党・森下さち子市議

と、法案は廃案にすることが筋です。

国会で審議されている「安保法制」、いわゆる「戦争法案」は、憲法9条をないがしろにするものです。与党が招致した参考人も含む憲法学者が3人も違憲であると述べたこと、世論調査でも過半数を超える国民が、「反対」「丁寧な説明を」と答えていることなど、法案は市民の暮らしや安全に責任を持つという立場から市民に計り知れない影響を与える可能性があるこの法案は撤回を求めるなど、国に意見をあげるべきだと求めました。市長は「国で審議されるものなので意見をいうことは差し控えたい」と答弁しました。

委託先からの連絡により出来るだけ早く修繕するようにしている。設置年数が相当経過しており、消臭剤等実施可能なものは早急に対応する」。

●建設局長は、「清掃の頻度は、使用頻度に依り週1回〜5回実施。相当の年数が経過し、老朽化が進んでいると認識している。市民からの声に対しその都度対応している」。



Stop! 戦争法案 「楠見でもデモ」実施



8月7日、「楠見子連れ9条の会」が主催して「STOP! 戦争法案楠見でもデモ」が実施され、小さな子どもを連れたお母さん、お父さんを始め80人が参加しました。河西診療所から善明寺文化会館までの約2kmを、「アンパンマンの歌」などを歌いながら「戦争法案絶対反対」と訴えました。

投稿

今できることを 精一杯したい!

衆議院での安保法案が可決された荒れた国会の映像を見て、小1の息子が「何これ? どうしたん?」と聞いてきました。自分の分かる範囲で集团的自衛権のことを話しました。争い合う大人達に愕然とした息子の表情。「楠見子連れ9条の会」の「Stop戦争法案」のパレードがあったので、「行って見る?」と聞くと「行く」と答えたので参加してきました。自民党は、戦争をしないための法案だと言っけれど、本当にそうでしょうか。多くの人が反対しているのに十分な説明がされないのは、まともな法案じゃないからだと思います。自分以外の誰かの未来を奪って、仕方がないと済ませる背中を、こどもには見せたくないです。だから、今、自分出来ることを精一杯したいです。
(30代 主婦)

投稿

遠い日 の記憶

今から60年位前、私の家は少し高台にあり朝日、夜空がとても美しい場所でした。ある星の美しい明るい夜、母が外に出て長い間じっと月を見ていました。私も近づき「何してんの?」と顔を見上げると涙をポタポタと流しながら戦死した弟(私の伯父)のことを思い出していたと言っています。出征する前夜もこんな月の美しい夜で「お姉さん、生きて帰ってもう一度家族でこの美しい月をみられるかなあ、絶対見たい」と言い残し出征していったそうです。17才で志願し衛生

兵として病院船「鈴鹿」で南方の海上で傷ついた兵士の手当をしていたそうです。が、米軍の爆撃を受け沈没。戦死0000(氏名)と書いた一枚の紙だけ入った白木の箱が届いただけだったそうです。志願するのをもっと強く止めなかったことへの悔しさと哀しみの涙でした。「どうして戦争反対とみんな言わなかったん?」と小学生だった私は母に問い詰めました。「そんなこと言える空気じゃなかった。うっかり言ったら...」と。弟の戦死で母も祖母の人生も深い悲しみを秘めながら随分変わらざるを得なかったとか。小さい頃は傷ついた軍人さんも沢山見ました。今、また軍靴がしのび寄っています。いえ、もう見えているように思います。日本国民、また他国にも計り知れない被害を与えるかもしれない「戦争法案」。平和のため、平和のためという言葉でごまかしながらの恐ろしい法案、廃案になりますようにと切に願っています。
母とのこの記憶、書くのは今しかないと思いつきました。
(C・Yさん)

エバグリーン前 戦争法案反対宣伝



(8月8日直川・エバグリーン前で行った党・河北ブロック後援会の街頭宣伝)
8月8日、日本共産党河北後援会は、22人が参加し、直川エバグリーン前で「戦争法案」に反対する宣伝行動を行いました。奥村県議、南畑市議の訴えに続き、2人の後援会員が法案絶対反対、自公の強権的な国会運営に抗議する訴えを行いました。買物に來ていた女の子数人が「みなさんがんばって」「戦争いやや」と手を振って応えてくれたり、車の中からも手を振ってくれるなど、暑い中でしたが元気をもらいました。私はこの宣伝で、京大有志の会の声明文を読み上げ、最後に「戦争法案 絶対反対」「憲法守れ」「アベ政治 許さん」とシュプレヒコールを行いました。(直川のY・Sさん)

無料生活法律相談

日時：9月 2日(水)
9月16日(水)
午後6時~7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時~12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4
相談実施中は看板を出しています
お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113(日本共産党市議団直通)